

平成 20 年度第 4 回サイバー・キャンパス・コンソーシアム
電気通信工学グループ運営委員会議事概要

I. 日 時：平成 21 年 3 月 6 日（金）14：00～16：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：穴吹委員、越後委員、玉野委員、岳委員
井端事務局長、森下、恩田

IV. 配布資料：

- ① 分野別委員会の活動について
- ② 平成 20 年 11 月報告の「分野別「学士力」考察の中間報告(お願い)」
- ③ 「各専攻分野を通じて培う「学士力」ー学士課程共通の「学習成果」に関する参考指針ー」
- ④ 平成 20 年 12 月 9 日付け第 3 回常務理事会の「人材育成産学連携構想の具体化」
- ⑤ 「修了者が身につけるべき能力示すー中教審が「学士課程教育の構築」で答申ー」
- ⑥ 「大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会
- ⑦ 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会分科会の構成案
- ⑧ 英国 QAA(Quality Assurance Agency for Higher Education)による分野別のベンチマーク・ステートメント

IV. 議事概要：

検討事項

1. 学士力の詳細設計について

事務局から、上記の①ー⑧の配布資料に関する説明をされた後、各委員による共通の到達目標をイメージしたコア・カリキュラム、到達目標、測定手段の検討について意見交換を行い、以下の内容で検討を進めることが確認された。

学士力の検討

- ①本年度作成の「学士力」を更に検討、基礎能力も含めた詳細な学士力(案)を作成する。
- ②「学士力」を達成するためのコア・カリキュラムのイメージを検討、指針を示す。
- ③「学士力」の到達度、能力判定、測定方法を検討、指針を示す。
- ④「学士力」を達成するための分野別の情報教育と到達目標を検討、作成する。

今後の検討に向けて「CCC 電気通信工学 Gr. 運営委員会 (H21/3/6 開催) での検討内容」を以下にまとめた。

CCC 電気通信工学 Gr. 運営委員会 (H21/3/6 開催) での検討内容

司会：玉野

- 専門と教養の両面にまたがる「専門教養」の確立
「専門教養」＝「人間力」
- 「専門教養」とは、
 - ・ 専門と教養の融合領域
 - ・ キャリア形成とも強い関係 ← 産業界と大学との分野別交流
教員インターンシップ＝FD の一方策として
- 「専門教養」で言う「専門力」とは、
 - ・ J A B E Eとは異なる点は「人間力」
 - ・ 「人間力」と「専門性」「専門性」は相反しない
 - ・ { 「専門力」 ← 「人間力」の形成 } = 「専門教養」
 - ・ 分野別（電気通信工学分野）毎の「専門教養」を確立
 - ・
- CCCとしてのとりくみ
 - ・ H21.12 までに、「学士力」策定への具体的詰め作業を進めていく。
 - ※ 学士力を担保する「コアカリ」形成には、水準の設定、 → 測定法確立
P D C Aサイクルの定着
「コアカリ」は「専門教養」を構築する過程での結果
 - ※ 大学で専門的な面を通して学び、それが「人間力」に繋がっていくためには、とくに「電気通信工学分野」でどのような点に留意すべきか
たとえば、
 - ・ システム構築力は文系・理系を問わず重要な能力
 - ・ 「自然」「社会」「環境」との関わりを通して、それらの「維持」「発展」に寄与
 - ・ そのための「エネルギー」に関する基礎知識とは？ 関連技術の基礎とは？

当面の課題：「学士力」策定に向け「専門教養」↔「基礎能力」の「見える化」を進める

2. 今後の検討スケジュールについて
後日メールで日程調整する。

3. 宿題

玉野委員から出された「当面の課題：「学士力」策定に向け「専門教養」↔「基礎能力」の「見える化」を進める」について各委員が考えをまとめておく。

以上